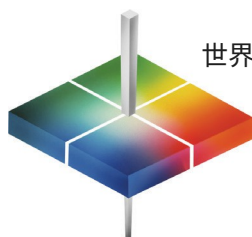


Vista®L2 Essentials L2 クイックスタートガイド

A60-1021-908 ver. 1.0



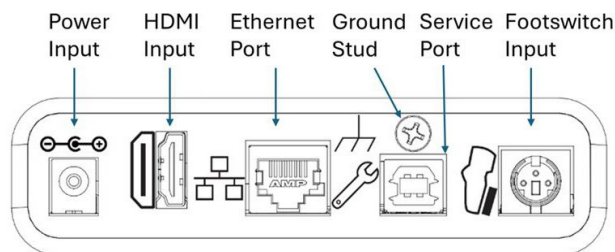
世界が認める真のカラー測定

HunterLab

A

機器のセットアップ

1. AC アダプタのプラグを Vista L2 の背面にあるポートに接続します。

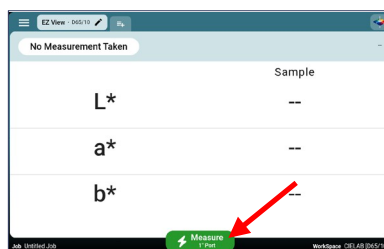


2. AC アダプタの電源コードを壁のコンセントに差し込みます。
3. Vista L2 の右側にあるスイッチを使って、電源を入れます。
4. Essentials L2 ソフトウェアが自動的に起動し、言語、地域、日付、時刻を設定するための「初回セットアップ」ダイアログが表示されます。設定が完了したら、「完了」をクリックしてください。
5. 上記のセットアップが完了すると、機能を紹介する「ウェルカムウィザード」が表示されます。指示に従って、ソフトウェアの操作に慣れてください。完了すると、装置は標準化の準備が整います。右上隅の HunterLab アイコンをクリックすれば、いつでもウィザードを再実行できます。

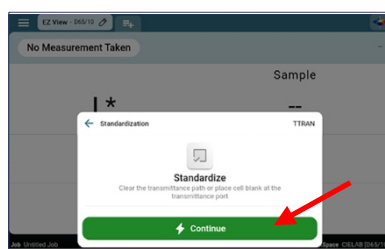
B

標準化

1. 画面上の「標準化」ボタンを押します。デフォルトのワークスペースは、ヘイズなしの全透過率 (TTRAN) に設定されています。

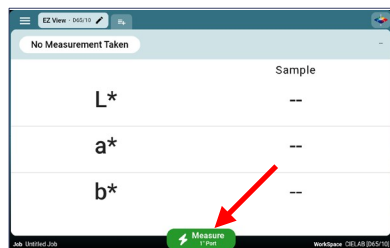


2. 透過光路がクリアな状態になると、システムは内蔵のライトブロッカーを使用して自動的に標準化を行います。
内蔵のライトブロッカーを使用して自動的に標準化を行います。ヘイズを含まない全透過率 (TTRAN) の測定値は、通常、内蔵のライトブロッカーの有無で透過率チャンバーを通る光を測定することで取得されます。



C 読解例

1. 試料を準備し、透過率チャンバーに設置します。全透過率を測定する場合は、試料を球体の隣に配置します。通常透過率の場合は、試料をレンズの隣に配置します。「MEASURE」を押します。



新しい機器の電源を入れた際、

以下のデフォルトワークスペースが読み込まれます：

表示：カラー

EZ View

ケール：被検体

CIELAB絶対

／観察者：

D65/10度標準タイプ:

アドホック/ワーキン

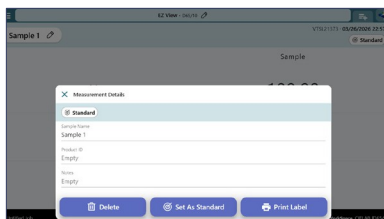
グ標準化: TTRAN

注：CIELAB (D65/10) と HunterLab (C/2) の 2 つのデフォルトワークスペースが読み込まれています。

これらのワークスペースは変更できません。ただし、デフォルトのワークスペースを編集して新しいものとして保存したり、既存のワークスペースを基に新しいワークスペースを作成してそこで編集したりすることは可能です。

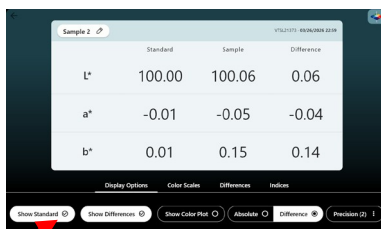
D 標準の作成

1. デフォルトのワークスペース（Ad hoc/Working standard タイプ）では、最初のサンプル測定値が自動的に標準として設定されます。これを変更するには、新しいサンプルを読み取り、[Sample Name] ボックスの鉛筆アイコンをクリックして、[Set as Standard] を選択します。



E 簡単な差異を表示するようにEZ VIEWを編集する

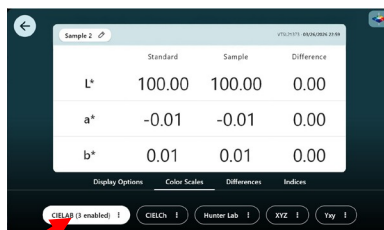
1. EZ View 画面で、編集アイコンを選択します  EZ Viewタブで。次に表示オプション。「基準を表示」および「差異を表示」の横にあるラジオボタンを選択すると、簡易的な差異が表示されます。



F

EZ VIEWでのカースケールの編集

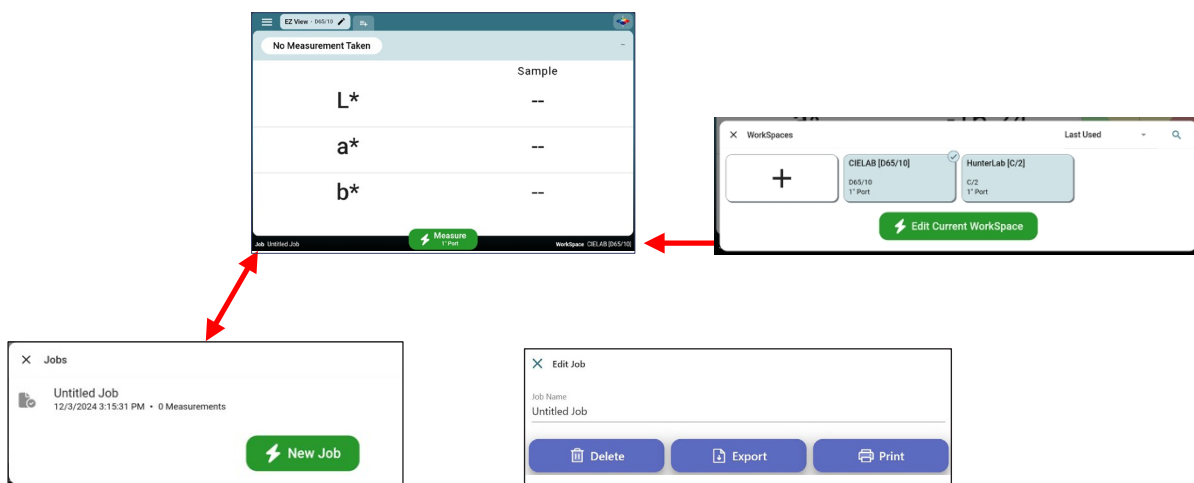
- 「EZ View」画面で、編集アイコンを選択し、必要なカラースケールを選択します。



G

ワークスペース/ジョブの変更または追加

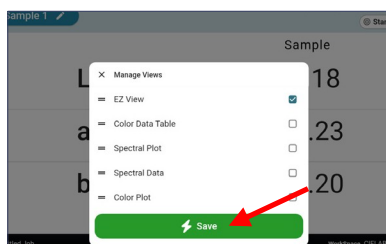
- 画面右下のワークスペース名をタップして、ワークスペースを変更または新規追加します。ワークスペースダイアログに従って、差異/インデックス、読み取りオプション、データエクスポートオプションなどを編集します。
- 画面左下のジョブ名を押して新しいジョブを作成するか、既存のジョブをタップしてジョブ名の編集、ジョブの印刷/削除、ジョブのエクスポート（.csv、.xls、または.pdfファイル）を行います。



H

ビューの追加

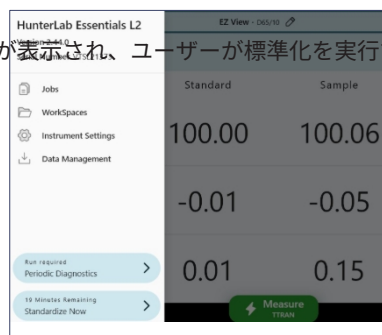
- 「EZ View」タブの横にあるビューアイコンを使用します。目的のビューの横にあるボックスを希望するビューの横にあるボックスを右クリックしてビューを選択します。「保存」を押します。





画面の左上隅にある3本線のアイコンをタップして、システムメニューを起動します：

1. 「ジョブ」および「ワークスペース」は、ワークスペース/ジョブダイアログを開く別の方法です。
2. [機器設定] では、標準化間隔の選択、Essentials 1 からの標準曲線のインポート、日付/時刻の変更、言語の選択、画面の向き反転、セキュリティ設定を行うことができます。
3. 「データ管理」では、ジョブおよびワークスペースのファイルを .ezm2 形式（外部アプリケーションでは読み取れません）でフラッシュドライブに保存できます。
4. 「定期診断」では、診断のステータスが表示され、ユーザーが診断を実行できるようになります。
5. 「標準化」では、現在のステータスが表示され、ユーザーが標準化を実行できます。



装置の使用に関するより詳細な手順については、『Vista®L2 ユーザーマニュアル』を参照してください。

装置のメンテナンス、操作、修理に関する詳細については、support.hunterlab.com をご覧ください。



「システム」メニューの詳細

